

「高砂市市民読書活動推進計画」（素案）に対する
パブリックコメントの実施結果について

1 募集期間 令和7年12月8日（月）から令和8年1月8日（木）まで

2 意見募集結果 提出 9名

3 意見の概要及び市の考え方

番号	意見の概要	市の考え方
1	「まちじゅう図書館」について、夢が感じられます。自然が多い阿弥陀町では、山や池を眺めながらテラスで自然に関する本を、伝統的建造物や歴史遺産が多い高砂町では、堀川や町屋を眺めながら、歴史書や偉人伝を読むということができれば楽しいと思います。	ご意見を参考に、市内で協力していた場所を増やし、周りの雰囲気も感じながら読書できるよう計画を進めます。
2	絵本はこどもだけのものではありません。高齢者にとっても是非手にとってページを開いて欲しいと思っています。身近な所で、すぐに手がとどくところに本がある環境づくり応援したいです。又、図書館まで歩いて行けない人の所に本を届けてあげられるようにもなるといいですね。	「まちじゅう図書館」の活動を進め、こどもだけではなく、様々な方々が本を読むことができるよう環境を提供していきます。
3	「ふらっと図書部」について、図書部・読書会・おはなし会・民話の研究や語り・絵本イベントなど中学生の活動の場として広げていき、担い手の発掘・育成まですすめられたら良いと思います。	ご意見を参考にして、「ふらっと図書部」で現在進めている中学生や高校生との連携を、さらに広められるよう計画していきます。

4	<p>「まちなか読書会」について、イベントなどでキッチンカーや昔の紙芝居のおじさんのようなお話会をしていく、こども向け・大人向けの絵本のおはなし会などもあれば良いと思います。</p>	<p>「まちなか読書会」を定期的に開催できるよう、こどもだけでなく、大人に向けても本などに触れる機会を増やします。</p>
5	<p>スタンプラリーやポイントカードなど、集める楽しさもとり入れて読書に興味がない人も参加したくなるようにしていけばよいと思います。</p>	<p>読書に興味がない人まで参加したくなるように、取り組みの参考にさせていただきます。</p>
6	<p>曾根地域交流センター本棚について、今は親子向けの小さな空間ですが、小学生向け・大人向けなどのコーナーを作ったり、2階に少しジャンルを変えて小説や長編のコーナーや貸出にするなど少しずつ広がれば良いと思います。</p>	<p>ご意見を参考に、地域交流センターや市内の施設とも連携するなどして、「まちじゅう図書館」の活動を広げていきます。</p>
7	<p>自分も含め読書の大切さもわかっているのに時間を作らない傾向にあります。本があることで共通の話題ができることもあります。人ととのコミュニケーションにもつながります。マルシェでこども向けに絵本読み聞かせをして頂けたら本の良さの再認識にもつながるのではないかと思います。</p>	<p>市内で開催されている定期的なマルシェなどのイベントと連携して、本に触れていただく機会を増やしていきます。</p>
8	<p>旧入江家住宅で、今話題になっている映画・ドキュメンタリーなどを上映して、その原作本であったり、作者の他の本を紹介する。同じく、旧入江家住宅で、まちなか読書会の会場の一つとして継続して使用していく。</p>	<p>旧入江家住宅において、本と関連した上映会の開催や、「まちなか読書会」の会場として利用できないか、ご意見を参考に検討します。</p>

9	<p>親子で本に触れる機会を作らないと、こどもは自然に本好きには育ちにくいと思われるので、地域交流センターなどに、今書棚に出ていない図書を並べて活用のはいかがでしょう。</p>	<p>ご意見を参考に、地域交流センターや市内の施設とも連携して、「まちじゅう図書館」の活動を広げていきます。</p>
10	<p>3つの基本姿勢のうち、②様々な市民に向けた読書活動の推進における施策の方向性および主な取り組みが良いと思いました。 まちのあちこちで、読書のきっかけとなる仕掛けがたくさん増えることで、読書を通した交流の輪が広がっていくことを願っています。</p>	<p>ご意見を参考に、市域全体で、読書のきっかけとなるイベントや場所を増やすよう検討します。</p>
11	<p>計画の中にある「本や読書」という文言を「人」に置き換えて考えてみると、視点が広がりそうです。本との出会いは、人の出会いと同じようなものだと考えると、そのあいだに入る「人」の存在やその「人」による仕掛けの「楽しさ」が非常に重要だと思います。人の行動のきっかけに「楽しさ」は大きな要素となるように思います。取り組みにあるサポーター制度やまちじゅう図書館は、市内の本好きの人たちを読書支援の仲間として広げていけるもので、大きな力となる可能性を感じます。</p>	<p>「サポーター制度」や「まちじゅう図書館」などの活動を通じて、人と人の交流が楽しく増えていくきっかけとなるよう、ご意見を参考にして、計画を進めています。</p>

12	<p>「楽しさ」をもとにした仕掛けは行政よりも地域の方方がしやすいと思います。ちょっとした悩みに本を紹介する「本の処方箋」、好きな本を持って出会いのきっかけにする「本との気持ちで婚活パーティ」、「本に出てくるお料理教室と試食会」、「本の登場人物になりきる演劇ワークショップ」など、「楽しい」と感じる仕掛けを考えるアイデアワークショップを本好きの人たちと考える取り組みもいいかもしれません。</p>	<p>ご意見を参考に、本にちんだイベントの楽しい仕掛けを、本好きの人たちからお聞きできるような取り組みについて検討します。</p>
13	<p>私はたまたまおもしろい本に出会えたおかげで本が好きになりました。それは、表紙だけで分かるものではないので、例えば、ピックアップした本の、ネタバレにならないくらいの内容や感想など、本に添えてもらえていたらしくすると、興味を持つ方も増えるのではないか。</p>	<p>本との出会いは重要と考えます。ご意見を参考に、様々な方々がまちじゅうで本と会えるよう、取り組みや活動を実施していきます。</p>